

郵便
報知新聞
第五百六十五号

男子は者も更は当り能く前先行思慮く
 分別を以て責す去の産決は後再び未煉
 と残を更あね往の禍言の引出を更らり
 備中國浅口郡玉島村の田嶋政太郎は年五
 及て妻を失ひ一の年未と廿三の安
 と迎へて後深とほ言にやまの政太郎が
 幸寄るると面白くは思ふりの家内
 小口説絶やねの政太郎思ひ切を離縁一
 るが後より老母や孫子の手に養育
 兼る後悔しやすが家小赴て再縁の
 儀を説されとけんわろくの返答なねが
 無念の更し思ひつゝ何時も眼を晴え
 と待た知らぬ彼やすの隣家へ住て久
 半道より設る政太郎安と書して立
 退一が程く捕縛さるると

